

授業科目 会計学

【担当教員名】 野水 弘祐		対象学年	2	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要】 近代における会計学の動向と、さらに最新動向につき資産評価論等を中心に学習し、会計の持つ基本的目的の理論的な考察力を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 会計の意義としくみを理解する。 2. 財務諸表の作成の原則を理解する。 3. 資産会計について理解する。 4. 負債会計について理解する。 5. 純資産会計について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	事業の共通言語としての会計			1	
2	会計情報のユニーク性			1	
3	会計のグローバル化			1	
4	会計情報のディスクロージャー			1	
5	財務諸表の体系			1	
6	貸借対照表のしくみ			2	
7	流動資産			2	
8	固定資産の区分			2	
9	繰延資産			2	
10	負債の区分			2	
11	資産の評価			2	
12	負債の評価			2	
13	純資産とは			2	
14	株主資本			2	
15	株主資本以外の純資産			2	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		入門会計学	片山覚、井出健二郎、高久隆太	実教出版	2009・1,900円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席・小テストの結果・期末テスト			【履修上の留意点】 会計を学ぶ者として、基礎的用語を使った会計会話ができるようになることを常に念頭に置いて学習すること。		